

# 日中友好のかけはしに



今年の夏越まつりの司会を務めたのは、大村出身のお笑い芸人ねんど大介さん。中国では、最も有名な日本のお笑い芸人と呼ばれる程の人気です。現在も日本と中国や台湾を行き来しながら、活動を続けています。

芸人デビューを果たしたのは、二十歳の頃。中国雑技団との出会いが、中国に進出するきっかけとなり、中国語の勉強を始めます。日本の劇団にも所属していましたが、「日中お笑い親善大使」として中国にわたり、タレント活動を開始。日中関係が悪化した時期もありましたが、「ピンチをチャンスに！」と前向きに、中国や台湾のテレビ番組やイベントを中心に多くの機会をものにしてきました。その活動は多岐にわたり、お笑いだけでなく、司会や俳優業、番組制作などマルチタレントぶりを発揮しています。

帰国後は、自治体のインバウンド誘致事業にも尽力。九州の魅力を紹介する台湾向けの番組を制作するなど、「インバウンドタレント」と称して活躍しています。「今年は日中国交正常化45周年。日本の魅力をさまざまな形で中華圏に発信しながら、日中友好のかけはしになりたい。長崎人だからこそできるはずです。」と熱く語ります。

今年の春にも故郷の大村で台湾向け番組のロケを敢行。地元のお祭りでも司会を務めるなど、大村のお笑い親善大使として活躍いただきました。「大村にもたくさん魅力がありますと改めて感じました。故郷がいいですね。」とねんどさん。ふるさとの魅力のPRも忘れていません。

タレント

## ねんど大介さん



クローズアップ

## 大村人

vol.28

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。

### Profile

ねんど・だいすけ  
昭和48年10月15日生まれ  
桜が原中、大村園芸高(現大村城南高)卒。中国雑技団の技に魅せられ、中国語を学ぶため中国へ。以来中国や台湾で暮らしながら、テレビ番組やイベントなどに多数出演。帰国後、自治体や企業のインバウンド誘致事業に携わる。43歳。

